



大島分場トピック

No. 298

(旧大島分場だより)

平成 16 年 1 月 15 日

東京都水産試験場 大島分場発行
〒 100-0212 東京都大島町波浮港 18
Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383
ホームページ <http://www.fish.metro.tokyo.jp>

黒潮は N 型流路で経過し、春先には B 型から C 型に！

--- 平成 16 年 1～6 月の海況予測 ---

平成 15 年 12 月 11、12 日に神奈川県横浜市において、漁海況予報会議が開催され、平成 16 年 1～6 月の海況予測が発表されましたのでお知らせします。

・海況の予測 (平成 16 年 1～6 月)

黒潮は 3 月前半まで N 型で推移しますが、小蛇行の東進に伴い、3 月後半には B 型となり、4 月後半には C 型になる。5 月には D 型～N 型になり、6 月には再び B 型になるでしょう (図 1)。



図 1 黒潮流路の代表的なパターン

・水温の予測

伊豆諸島北部海域の水温は 3 月までは「やや低め」、3 月後半は「高め」4 月後半は「低め」、5 月には「やや低め」6 月に再び「高め」になるでしょう。



図 2 現在の海況

予測の根拠

伊豆諸島海域における黒潮流路の蛇行は、ほとんどの場合、九州南東沖に発生する小蛇行が遠州灘沖まで東進、発達することにより形成されます。現在、九州の沖合には、11 月下旬に都井岬沖に発生した小蛇行が存在し、3 月にはさらに小蛇行が形成されることが予想されています (図 2)。今までの経験則からこの 2 つの小蛇行は比較的発達するものと予想されていることから、今回は「1 つ目の小蛇行が 3 月に遠州灘沖に達して B 型、4 月に

伊豆諸島に達して C 型、これが 5 月に房総沖に抜けて D 型～N 型に変化し、3 月に発生する小蛇行が 6 月に遠州灘沖にまで来ることによって B 型になる」と予想しました。

現在のところ、6 ヶ月間の予測を提示していますが、海況状況に変化があった場合、改めて最新の情報を皆様にご報告いたします。また、海況の変化によって漁模様も大きくかわるので、今後の「一都三県漁海況速報」にご注意下さい。